

北海道から2名を迎え S36 年卒電気科のクラス会が開催されました



11月12日（水）午後、電気科昭和36年卒業の関東在住者クラス会を開催しました。今年の参加者は北海道から出席の2名を加え計10名でした。

孫の顔見たさで冬眠前のクマさん（？）こと熊谷進君がクラス会に合わせてやって来ました。また、既にHPで紹介されていますが、長年苦小牧市議員（5期20年）をされていた名越晴男君が秋の叙勲で「旭日双光章」を授賞され、11日に皇居で授章式がありご夫婦で上京されました。

さてクラス会は、孫の七五三のため仙台へ行った西村君、勤めていた会社のOB会幹事の北館君、日程が合わなかった佐々木君、東京様似会の準備と重なった東京様似会事務局長の鳥井君、体調の関係で断念した溝越君、得地君、吉田君、急な仕事が入った宮地君等々の都合がつかなかったのは残念でした。

クラス会のために新丸ビル内のレストランを予約してくれた松田君に感謝しながら、田澤君の乾杯で始まりました。皆からの近況報告を交えながら昔話も出て大盛況でした。

主役は北海道から参加した二人で、クマさんは連日孫の相手で疲れたよと嬉しい悲鳴。名越君は皆の前で「旭日双光章」を披露。そして授章式では天皇陛下の1.5メートル前で「おめでとう」と声を掛けて戴いた話も披露。不謹慎な幹事の駒米は、勲章の中に握手券は無かったのかと、AKBと勘違いをした発言が飛び出しパッシングをされました。当日は服装など細かく決められており疲れたと言っておられました。

瀧野君はこの日のためにストレッチをして、出席してくれました。田澤君も翌日検査入院を控えての元気な姿で、饒舌に会をリードしてくれました。皆から孫の話がたくさん出されました。中でも高校生の孫を持つ井齋君からは、吹奏楽部の全国大会に出場した話がありました。土田君は静かで無口ですが近況報告。佐藤君は地域で色々活躍されているようでした。及川君は住んでいるマンションの理事としての苦労話。学生時代とうって変わった松田君の超饒舌な独り舞台に聞き入ってしまいました。等々クラスメンバーは、クラス会以外でも色々な形で交友を深めています。やっぱり社会に出る前に過ごした友達は最高、そして来年また会おうと誓い三時間のクラス会を終えました。

（駒米記）